

1. 学校名 高知県宿毛市立片島中学校

2. 活動テーマ名 「海の学習」

3. 実践概要・ねらい

学校の所在地は、宿毛湾に面した海の玄関口である。本来宿毛湾は豊かな漁場であり、観光として見てみてもマリレジャーを始め、釣りのメッカとしても全国にも名を馳せている。しかし、最近の情勢によって海に関係する職業人口が減少していて、子どもたちの保護者等にもその影響は現れている。海に囲まれて生活している片島の子どもたちであるが、離島である沖の島や鵜来島へ行ったことや、多様な海の生物が生存する宿毛湾の自然環境について知っている子どもたちは少ない。卒業して将来、故郷の自然環境の素晴らしさを誇りに思い、堂々と故郷のことが語れる子どもたちを育成するため。

4. 実践計画

①テーマ・概要・活動計画、教科等との関連

<2年生>テーマ：宿毛湾の自然環境とシュノーケリング体験

- ・宿毛湾の自然環境（生物）について、黒潮実感センター（大月町）の方を講師に招き、宿毛湾に生息する海の生き物について講演会形式等で学習し、実際に海に行き、シュノーケリング等で海中のサンゴの様子や海の生物等を観察する体験を行う。
- ・講演：平成30年6月26日（火）13:30～15:20
- ・シュノーケリング体験：平成30年7月2日（月）9:30～11:50
- ・関連教科：理科、社会、総合的な学習

<3年生>沖の島の自然環境とフィールドワーク

- ・宿毛市の自然環境と沖の島や鵜来島のことを知るために、宿毛市営定期船航路（沖の島航路）に乗り、海から陸を見たり、途中停泊する鵜来島を見たりする。沖の島に到着後、講師の方に沖の島の歴史や産業、豊かな自然環境等について学び、美しい海中の様子を観察するなどのフィールドワークを行う。
- ・自然環境体験学習：平成30年7月17日（火）7:00～16:55
- ・関連教科：理科、社会、

②実践の評価について

我が故郷、宿毛市の自然環境の素晴らしさを見て学んで体験することで、身近な里海としての宿毛湾の魅力や沖の島の自然環境を再発見するとともに、これからも自然環境の保全に努めることが必要であることを認識し、将来故郷を自慢に思い、他市町村や他県の人にも故郷宿毛市（離島や海の生物等含）のことを自信持って紹介できる生徒を育成することができた。

5. 今年度の実践

①計画からの追加・変更点

追加として、1年生の宿泊研修のプログラムの中に「海の学習」のオリエンテーションに宿毛のサンゴ等の生物に詳しい黒潮生物研究所（大月町）の方に来ていただき講演をしていただいた。

また変更点としては、授業時数の関係で、今年度は2年生の活動学年を1年生、3年生の活動学年を2年生に変更した。また、シュノーケリング体験を計画していたが、度重なる豪雨や台風の影響で、4回の日程変更を試みたが、海水温の関係もあり、グラスボード体験に変更した。

②実践の成果

上記4②実践の評価と同じ

③次年度への課題

なし

6. 主な連携機関及び内容

①黒潮生物研究所（高知県幡多郡大月町）

②黒潮実感センター（高知県幡多郡大月町）

1年生対象に、宿毛湾の環境や生物について、神田優センター長の講演とシュノーケリング体験

③大月町観光協会（高知県幡多郡大月町）

1年生のグラスボード体験学習の時、グラスボードに乗れる人数の関係から、学年を2班に分け、体験と並行して柏島の自然や海岸地形等の話をさせていただきました。

④沖の島観光ボランティアガイド（高知県宿毛市沖の島町母島）

2年生対象に、沖の島の歴史や産業、自然環境等について現地案内と解説をしていただきました。

## 1年生「海の学習～宿毛湾の自然環境とシュノーケリング体験をして身近な海をより深く知ろう～」

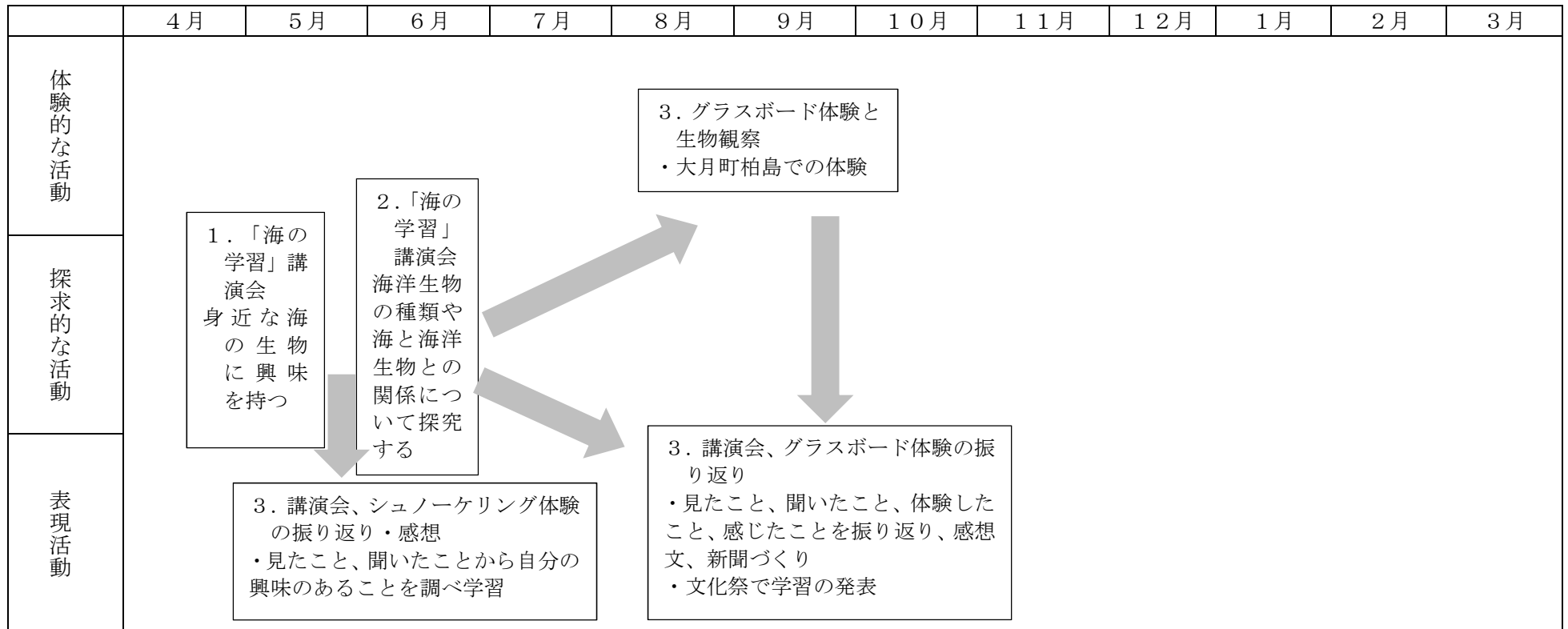
### 【実践のねらい】

学校の所在地は、宿毛湾に面した海の玄関口である。本来宿毛湾は豊かな漁場であり、観光として見ていてもマリンレジャーを始め、釣りのメッカとしても全国にも名を馳せている。しかし、最近の情勢によって海に関係する職業人口が減少していて、子どもたちの保護者等にもその影響は現れている。海に囲まれて生活している片島の子どもたちであるが、多様な海の生物が生存する宿毛湾の自然環境について知っている子どもたちは少ない。卒業して将来、故郷の自然環境の素晴らしさを誇りに思い、堂々と故郷のことが語れる子どもたちを育成するため。

○時数：4月～10月 13時間

○関連：理科、社会科、総合的な学習の時間

○目標：講演会形式による講話や、実際に大月町柏島の海に行きガラスボード体験を行い、身近な海の自然環境を知り、多様な生物の観察体験を行うことで、故郷の海の自然環境の素晴らしさを誇りに思い、保全しようとする態度を育成することができる。



## 2年生「海の学習～沖の島の自然環境とフィールドワークをして身近な海をより深く知ろう～」


## 【実践のねらい】

学校の所在地は、宿毛湾に面した海の玄関口である。本来宿毛湾は豊かな漁場であり、観光として見てみてもマリンレジャーを始め、釣りのメッカとしても全国にも名を馳せている。しかし、最近の情勢によって海に関係する職業人口が減少していて、子どもたちの保護者等にもその影響は現れている。海に囲まれて生活している片島の子どもたちであるが、離島である沖の島や鶴来島へ行ったことや、多様な海の生物が生存する宿毛湾の自然環境について知っている子どもたちは少ない。卒業して将来、故郷の自然環境の素晴らしさを誇りに思い、堂々と故郷のことが語れる子どもたちを育成するため。

○時数：7月 6時間

○関連：理科、社会科

○目標：宿毛市の自然環境と沖の島や鶴来島のことを知るために、宿毛市営定期船航路（沖の島航路）に乗り、海から陸を見たり、途中停泊する鶴来島を見たりする。沖の島に到着後、講師の方に沖の島の歴史や産業、豊かな自然環境等について学び、美しい海中の様子を観察するなどのフィールドワークを行い、故郷の自然環境の素晴らしさを誇りに思い、保全しようとする態度を育成することができる。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
体験的な活動	<div data-bbox="586 726 1039 901" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           1. 沖の島の自然・環境体験学習            ・沖の島の歴史・産業や自然環境等について講師の説明を聴きながら島内を探索する         </div> <div data-bbox="761 906 833 1177" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="586 1182 1039 1396" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           2. 自然環境・体験学習の振り返り・感想            ・見たこと、聞いたこと、体験したこと、感じたことを振り返り、感想文を書く         </div>											
探求的な活動												
表現活動												